

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	13
施設名	葛飾区半田保育園
施設所在地	葛飾区東金町4-34-12
法人名	葛飾区

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然物  
～身近な自然物を使った遊び・製作～

<テーマの設定理由>

・水元公園に近く、気軽に公園に散歩に出かけることができる。  
・季節の移ろいや四季に触れ様々な発見や探求心の芽生えをはぐくみたい。  
・子どもたちは自然物を拾い集めることに興味関心を持っている。自分で見つけて拾った宝物を持ち帰り、それを使って楽しんだり、調べたり、製作したり、自然物を身近な存在として遊びに取り入れて遊ぶ姿があり『自然物』をテーマにした。

## 2. 活動スケジュール

令和7年4月～6月：天候が良い日に散歩に行く  
令和7年5月：テーマ決定  
令和7年7月：必要物品等実施準備  
令和7年7月～令和8年3月：実施  
（散歩の際に、取りまとめておいた自然物を保存し、使いたい時に遊びや製作に使用）  
令和7年12月：クリスマスの装飾・作品展  
令和8年3月：自然物作品展『もりのおくりもの』開催  
令和8年3月：振り返り

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・収穫した自然物を入れるかご
- ・製作に必要な接着剤、電気ドリル
- ・絵具や紙などの素材
- ・イメージを膨らませるための木材・積み木・木製動物など
- ・自然物をテーマにした本

### 4. 探究活動の実践

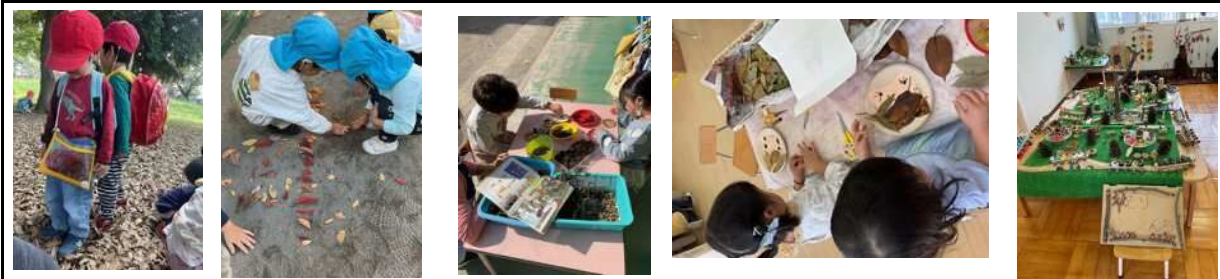
#### <活動の内容>

散歩に行った際に、子どもたちが興味を持ち拾い集めた物や、職員が拾い集めた自然物などを環境として飾る。「これはなんだろう」と図鑑で調べたり、手に届く場所に設定することで、観察が始まる。どんぐりは”触れてみた”、”振ってみた”、”割ってみた”など子どもたちの自由な発想やアイデアが湧き、試してみることで新たな発見へとつながっていった。

自然物を使った製作の集大成として、クリスマスの装飾と3月『もりのおくりもの』と題してどんぐりを使った世界観を作品展として開催した。

#### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

散歩に行った際に「どんぐり、まだ落ちてないね？」と公園内の季節の移ろいを観察し合いながら各クラスで報告し合う。「どんぐりあったよ」「赤い葉っぱあったよ」公園内の自然物を拾い集め宝物のように持ち帰る。どんぐりを振ってみたら「音がしたよ!」「中を見たいな。割ってもいい?」トンカチでトントントン。「このどんぐりは小さいから小さい音がする」「大きいどんぐりは音がしないよ!」「ピーナツみたいだね」子どもたちの”やってみよう”という探求心から自由な発想やアイデアが生まれる。気持ちを尊重し、肯定的な言葉かけを心がけることで、主体的に自然物と関わっていく子どもたち。「何ができるかな?」保育者が子どもたちの思いを形にしていくことが達成感へと繋がっていくと感じた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

散歩が日常的な環境の中で、自然物を拾い集めること、調べること、試すこと、遊び、製作することは子どもたちにとってとても興味のあることであり、「どうなっているのかな?」「こうしてみたい」「こんなのどうかな?」を形にしていく手伝いをするのが、保育者の役割だと感じた。探求する心、自由な発想とアイデアが今後の経験に繋がって欲しい。対象年齢を0歳児から設定したが、乳児クラスに関しては、自然物を拾うこと、製作を保育者と一緒に楽しむ形となった。